

基本目標D みんなでより良い環境を創るまち

基本施策D - 1 自主的・協働した取り組みの推進

指標の達成状況

指標	目標	29年度実績
市民活動センターの登録団体数	計画策定時(59団体(累計))より増 目標年度:【2017(H29)】	計画策定時より増 [135団体]
市民活動センターの利用者数	6,500人 目標年度:【2017(H29)】	5,660人

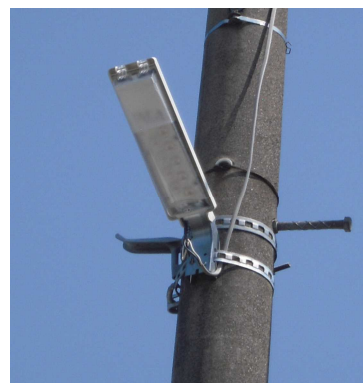
施策の実施状況

市民や市民団体、NPO法人、事業者、大学等の活動の活性化・支援を進めます。【地域生活課】

市民協働を推進するために整備した市民活動センターには、平成29年度末時点で市民団体等135団体が利用登録をしていますが、このうち、環境・自然に関する団体は15団体でした。

各団体は、地域での環境保全活動、環境意識の向上に向けた活動や自然理解を深める活動等、より良い環境創りのための自主的な活動を進めており、市民活動センターは、各団体の活動発表や啓発資料による情報発信等の活動拠点として利用されました。

また、町内会が所有・管理している街路灯に係る省エネルギー化の取組支援を平成22年度から開始し、平成29年度は518灯、合計で3,100灯が省エネルギー型街路灯となりました。



町内会の省エネルギー型街路灯

市民や市民団体、NPO法人、事業者、大学等の連携を促進します。【地域生活課、環境課】

市民協働の一環で環境美化事業として実施しているまち「ピカ」パートナーについては、情報交換会等を開催するなど、パートナー同士、行政と団体の連携促進を図っています。

市民・事業者・行政が一体となって資源循環型社会を目指す「室蘭市リサイクル協働市民協議会」との協働により、室蘭市環境美化促進モデル地区での啓発のほか、市内での街頭啓発、ボランティア清掃活動支援、交通エコロジー教室の開催、清掃・リサイクル活動者への感謝状贈呈等を行いました。



清掃・リサイクル活動者への感謝状贈呈式



室蘭市環境美化促進モデル地区での啓発活動

基本施策D - 2 環境意識の形成と情報の共有化の推進**施策の実施状況**

「年次報告書（環境白書）」を通して、市民や企業等への情報提供を進め、情報の共有化を図ります。【環境課】

本市環境基本条例に基づいて設置されている環境審議会では本市環境基本計画の進捗状況に対する意見や提言をいただき、平成29年11月に「平成29年度版室蘭市環境白書（平成28年度実績）」を作成し、環境関連市民団体や町内会、市内事業所等に対して当該白書（冊子）を配布したほか、広報紙や市ホームページ等へ掲載し、本市環境基本計画の進捗状況等について情報提供しました。

「こどもエコクラブ」などの環境学習や講演会を通して、市民や次世代を担う子どもたちの環境意識の向上を図ります。【環境課】

こどもエコクラブ全国事務局と連携し、市内の「こどもエコクラブ」登録団体にエコ活動に役立つ情報発信を行うなど、環境学習推進に努めました。

また、北海道運輸局、室蘭市リサイクル協働市民協議会との共催により、旭ヶ丘小学校、水元小学校、白鳥台小学校の3校で、小学5年生を対象とした「交通エコロジー教室」を開催しました。地球温暖化対策と公共交通機関利用との関係を学ぶスライド、地球儀模型を使った温室効果実験、家庭での省エネの取り組みを考えるカードゲーム、ハイブリッドバスの試乗体験、電気自動車と燃料電池自動車の紹介、電気自動車の模擬充電体験を通じて、楽しみながら地球温暖化問題を学ぶプログラムにより、環境意識の向上を図りました。このほか、環境月間中には公共施設に環境啓発のぼりを設置するとともに、市内大型店において環境家計簿の配布等による街頭啓発を行いました。



交通エコロジー教室

環境保全活動を実践している個人や団体を「環境マイスター」に認定し、環境教育や環境学習を連携して推進します。【環境課】

市民活動センターには、率先的に環境保全活動を実践している市民団体等が利用登録し、活動の中で環境学習等も実施しています。また、市民学習活動を支援するため、豊富な経験や知識、技能を持った方々にその能力を活用していただく室蘭市生涯学習指導者バンクの登録制度も整備されています。

こうした既存制度のある中で自主率先的な活動が実施されている状況から、環境マイスターの認定制度設計については他自治体の事例、市内における制度のニーズなど研究を継続しながら、当面の間は、市民活動センターによる活動拠点提供や、活動を実施するための側面支援等により環境学習等を連携して推進していきます。